

植 生 評 価 度	定 義
1	人為的影響の最も強い所
2	草丈の短い植物で構成されている人工植生を主とした所
3	植栽された中木で構成されている所 地表には雑草群落のみられる。
4	かつて人工植生があった所が放棄されて成立した植生で、主に草丈が中位の草本で構成されている所
5	比較的半自然的植生になったもので、草丈の高い草木で構成されている所
6	植 林 地
7	沿岸地帯、平野地帯、丘陵地帯、山地帯下限などで自然林が繰り返し伐採された跡に成立した林
8	沿岸地帯から高山帯までの県土全域にみられる自然植生が破壊された跡に成立した植生で、比較的人為の影響が少なく組成が自然植生に類似する植生
9	沿岸地帯から高山帯までの県土全域にみられる自然植生で、その地域の極相に相当する植生
10	沿岸地帯から高山帯までの県土全域にみられる自然植生で、特殊なきびしい環境に成立する群落

例
市街地などの屋敷や建物
水田、蔬菜畑、牧草畑、
桑園、落葉果樹園など。
荒地などに成立するヨモギ地雑草群落、放棄水田雑草群落
ススキ草原、チガヤ群落、ヨシ——ミゾソバ群落など
クロマツ、アカマツ、ヒノキの植林
コナラ林、ミズナラ林、ネザサ群落
タブノキ二次林、モミヤナギ林、定期的に干される溜池
沿岸地帯——アカマツ林 丘陵地帯——モミ・イナバノミヤナギ林 山地帯——ブナ林 亜高山帯——アオモリ林など。 高山帯——ハイマツ
雪田植物群落、火山荒廃植物群落、自然湖沼に